



福田隆幸 理事長挨拶



山口 徹 施設長挨拶

新年会

令和6年1月1日



令和6年新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

平素は皆様におかれましては、社会福祉法人三省会、やまづみ荘の運営に関しまして、ご協力いただきありがとうございます。

コロナウイルスも5類となり、以前ほどの脅威ではなくなりましたが、インフルエンザも含め、まだ予断をゆるさない状況が続いており、面談等ご不便をおかけすると存じますが、何卒ご理解の程よろしくお願いいたします。

介護保険、医療保険の改定を受け、やまづみ荘といたしましても、今後とも協力病院である福田外科病院並びに山澄地域包括支援センターと連携を取りながら事業運営を行いたいと思っております。

今後の皆さまのご健勝とご多幸を陰ながらお祈りしております。

厨房

お正月はおせち料理を提供しました。皆様の今年1年のご多幸を願い心を込めて作りました。

また、節分の日には、いなり寿司を提供しました。和菓子も季節を感じてもらえるよう選んでいます。



有料老人ホーム(のどか)

令和6年、「のどか」では穏やかな年を迎えました。おせちを食べたり、かるた大会を催し、楽しく過ごしました。



認知デイサービス(ほのか)

今年もお正月に因んで書初めや福笑いを行いました。始めは「難しい」と言われながらも皆さん真剣に取り組まれ、最後に記念撮影し、笑顔になっていました。



グループホーム

笑いたっぴりの福笑いや白熱のカルタ取り、背筋を正して書初めを行いました。



小規模特養ホーム

新年を祝い、絵馬祈願祭を行いました。「今年の願い事は何にしようかね。」と言いながら、手作りの素敵な絵馬が完成しました。



ショートステイ

今年の新年会は、集合される方、Zoomでのオンライン配信での参加に分かれて開催しました。

短時間の開催にはなりましたが、「やっぱり集まるとはよかね」「久しぶり来たよ」など、利用者様の笑顔を見ることができました。



小規模多機能ホーム

1月1日の新年会に出席したあと、部屋で皆さんを待っていたのは、おせち料理。皆さん舌鼓を打ち、とても喜ばれていました。食後は遊戯「体操すごろく」を行い、新年初日に皆さんで体を動か



かし、長寿を願うことができて良い始まりだったと思います。

また、日を改めて皆さんで福笑いをしました。目隠した状態で顔のパーツを手探りで作っていったので難しかったようですが、出来上がった顔を見て、皆さん笑顔が見えました。



《発行所》
社会福祉法人 三省会
特別養護老人ホーム
やまづみ荘
〒857-0822 佐保市山祇町388
TEL 0956-34-8000

冬行事




特養ホーム

節分では、豆の代わりにお手玉を鬼に向かって投げてくださいました。
皆さんに福が訪れますように、「鬼は外! 福は内!」と皆さん元気よく声を出して豆まきを楽しまれました。



有料老人ホーム(のどか)

今年も“オキタクローズ”がやってきました。皆さん一人ひとりにクリスマスプレゼントを渡し、ワクワク、ウキウキの気持ちで、みんな一緒にケーキを頂き、楽しいひと時を過ごしました。



認知デイサービス (ほのか)



12月22日にクリスマス会を開催しました。カラオケで歌を歌って盛り上がったあとはクリスマスケーキを召し上がっていただき、最後に一年の感謝を込めてプレゼントをお渡し、皆さん笑顔で締めくくることが出来ました。

グループホーム

やまずみサンタがやってきました。気持ちばかりのプレゼントを用意させて頂き、その後はカラオケで盛り上がりました。



ショートステイ

季節ごとの行事も少しずつ再開し始めました。雪の降った日には、みんなで協力して雪だるまを作りました。



デイサービス

節分会では、鬼とおかめを的にしたゲームをしました。皆さんおかげに当たらないようにしながら、鬼を一生懸命狙っていました。中々思う様に当たらず「難しか〜、全然鬼を倒せん」「頑張れ〜 ああ〜惜しい」と皆さん一体となって盛り上がっていました。



小規模特養ホーム

クリスマスに、職員によるハンドベル演奏会を開催しました。入所者様もハンドベルの音色に合わせて歌い、楽しんでおられました。



小規模多機能ホーム

12月25日、クリスマス会があり、職員がサンタの格好に扮装し、利用者の方々に新しいパズルと毛布をプレゼントしました。また、昼食もクリスマスをイメージした特別な料理を準備しました。最後にはケーキを皆さんで召し上がって頂き、最高のクリスマスになったと思います。



介護教室を行いました

令和5年11月19日に山澄地区コミュニティセンターで「佐世保市介護教室」を開催し、地域住民の方や介護に興味のある方など、総勢19名の方が参加してくださいました。

今回は「認知症の理解と接し方」というテーマで、やまずみ荘の生活相談員が講師を務めました。

教室は、1部を認知症に関する基本的な知識等の講義、2部を認知症予防体操・レクリエーションと2部構成で行いました。

参加者からは、「わかりやすかった」「このような教室は年に数回実施してほしい」など、ご意見を頂くことができました。

新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催で、緊張感もある中での開催でしたが、たくさんの方に参加して頂きありがとうございました。

今後も施設から地域に向けて、更に有益な情報を発信できるように取り組んで参ります。

次年度開催の際にはぜひお越しください。

